

# MRI 検査予約票

様 検査は 月 日 ( 曜日) 時 分からです。

30分前には来院し受付を済ませてください。

(救急等により検査開始時間が遅れる場合もございますのでご了承ください。)

## 【 MRI 検査のご説明】

- MRI 検査とは強力な磁石を使って身体のあらゆる角度の断面を撮影する検査です。
- 検査時間は検査する内容により異なりますが、通常20分～60分程度です。
- より精密に調べるために薬剤（造影剤）を使用した検査を行う場合もあります。

## 【 MRI 検査での注意事項】

- 心臓ペースメーカー埋め込み、人工内耳や心臓人工機械弁などの手術をされている方は安全のため検査は出来ません。また閉所恐怖症で不安がある方は検査前に申し出てください。
- 検査中は大きな音がしますので、耳栓あるいは音楽が流れるヘッドホンを使用いたします。
- 服用中のお薬がある方は、通常通りお飲みください。
- 検査室内への携帯電話、財布、鍵等の持込みは出来ませんのでロッカーにてお預かりします。また、補聴器、アクセサリ、エレキバン、入れ歯等の金属類は画像に影響しますので外していただきます。
- 刺青等がある方は火傷や変色の可能性がありますので医師に申し出てください。
- 現在、妊娠あるいは妊娠の可能性のある方は申し出てください。

【安全に検査を受けていただくために、下記項目のチェックおよび記入を宜しくお願いします。】

狭い場所が苦手あるいは息苦しさを感じたことがある。	有・無	有の場合、検査が出来ない場合もあります。
心臓ペースメーカーや人工内耳、脳動脈瘤クリップ等の手術をしたことがある。	有・無	有の場合、検査を中止する場合もあります。
上記以外の手術をしたことがある。 いつ頃( )どの様な手術ですか( )	有・無	有の場合、検査を中止する場合もあります。
入れ歯や歯のインプラントがある。(取り外し可能なもの)	有・無	有の場合、安全性のため外していただきます。
花粉症又はぜんそくがある。	有・無	有の場合、造影検査は中止する場合もあります。
アレルギー性の病気や体質がある。	有・無	有の場合、造影検査は中止する場合もあります。

## 検査当日の流れ

### 1 受付 検査時間の30分前に受付

- 保険証、診療情報提供書、予約票(この用紙)を確認いたします。  
(検査説明書は持参しなくてもいいです。)

### 2 放射線科

- 受付より放射線科へご案内いたします。
- 問診の確認と造影時には同意書を確認します。

### 3 検査開始

- 検査着に着替えていただく場合もあります。

### 4 検査終了

- 会計を行うために受付へご案内いたします。

### 5 会計

- 画像 CD (DVD) をお渡しいたしますので、紹介元の病院での診察日に持参しお渡しください。  
基本的に報告書は、紹介元の病院に郵送いたします。(1週間から10日前後)



予約あるいは受付方法など、何かご質問がありましたら地域連携室までご連絡ください。

また、検査内容についてのご質問は画像診断検査センターまでご連絡ください。

昭南病院 地域連携室 099-482-0623 (直通ダイヤル)

画像診断検査センター 099-482-0622 (内線135)

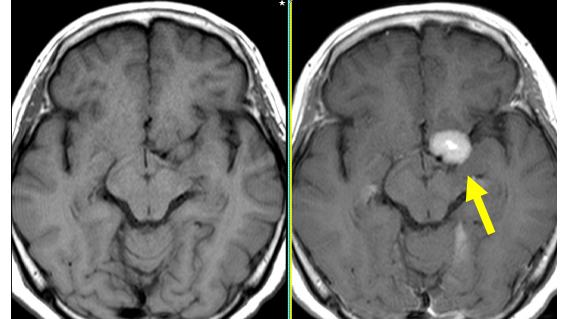
# 造影MRI 検査説明書

## 【造影MRI 検査をお受けになる患者様へ】

造影MRI 検査を受けられる方には、アレルギー等に関する問診と以下の説明文及び医師による説明をご理解した上で造影検査を受けるための同意書へのご署名をお願いしております。なお、同意書に記入された後に造影剤の使用を拒否されてもかまいませんので、そのときは申し出ください。

### 造影MRI 線検査とは

造影 MRI 線検査とは、約 15cc 前後（体重や目的により量は変更されます。）のガドリニウムを含む検査薬（造影剤）を血管内に注射しながら行うMRI 検査です。造影剤を使用する事により、血管の走行状態や臓器の血流状態、病変の大きさなどがわかり診断に大変役立ちます。



右：造影剤なし 左：造影剤あり  
黄色矢印：脳内にある腫瘍

### 検査前の食事について

検査前の3時間は食事をとらないようにしてください。

ただし、水分は可能ですが胆のう検査の場合には制限がありますので医師にご確認ください。

### 造影剤の副作用について

MRI 検査用の造影剤は安全な薬剤ですが、全く危険性を無くすことはできていません。軽微な副作用を含めると、約1%以下（100人に1人以下の割合）で何らかの副作用が生じるといわれています。

- 造影剤の注射中に体全体が熱く感じるがありますが、数分で治まり心配ありません。
- 軽い副作用（頻度は1%以下）  
吐気、嘔吐、頭痛、めまい、蕁麻疹、発疹、かゆみ、手足のむくみ、発熱、せき、など
- 重い副作用（頻度は0.05%以下）  
ショックやアナフィラキシー様反応（例えば呼吸困難や血圧低下など）が生じることがあります。また、極めてまれですが他の通常の薬剤と同じように副作用により死亡に至った例も報告（0.0001%以下）されています。
- 造影検査では、造影剤の効果を高めるために急速に体内に注入しますので血管に圧力がかかり血管の外に造影剤が漏れてしまい腫れ、痛みなどを生じてしまう方もおられますが、多くは時間が経てば自然と吸収され腫れや痛みも治まります。

今までに造影剤検査において副作用を起こしたことがある方、ぜんそく、花粉症などの疾患やお薬、食べ物等にアレルギーがある方や腎臓の機能が極端にわるい方は副作用が生じる可能性が比較的高いため造影剤を使用した検査は中止される場合もあります。

### 副作用への対応について

問診の内容や患者様の状態により副作用を起こし難くする薬（ステロイドや点滴等）を注射するなどの処置をして副作用の発生リスクを極力抑えてから検査を行うこともあります。また、造影検査中は安全のために放射線科の技師あるいは医師や看護師が常に待機しており副作用が発生してしまった場合でも注射や点滴など症状に合わせた処置を迅速に行なえるように万全の体制を整えておりますのでご安心ください。

### 造影検査での注意事項

- 造影剤は尿から排泄されますので検査後は、水、お茶などの水分をいつもより多く飲んでください。
- まれに造影検査が終わり数日たってから、じんましん、むくみ、血圧低下などの症状が現れることがあります。その際は昭南病院にご連絡ください。
- 造影剤は母乳中に移行しますので、造影剤注射後24時間は授乳を控えてください。

【造影MRI 検査の場合には、この説明書を患者様にお渡しください。】